



## 6.5 総がかり国会前大行動

### —明日を決めるのは私たち・政治を変えよう！

昨年9月19日、安倍政権は憲法違反の戦争法を数の暴力で強行成立させました。この蛮行に対する怒りは今も続いており、戦争法を廃止する以外にこの怒りを抑えることはできません。この思いを抱いて4万人の人が集結しました。

昨年、国会前で私たちは「野党頑張れ」、「野党は共闘」の声を上げ、野党議員に結束を促し、声援を送り続けました。この声、連帯を生み、市民運動を起こし、7月の参院選で32の一人区のすべてで統一候補を擁立させるに至りました。

今日の集会は、参院選に向け野党共闘が始動したことと、戦争法の廃止に向けた第一歩が踏み出されたことを互いに確認することにあります。スピーチでも「これはスタートラインです。選挙で勝たなくてはなりません。勝つためには必要なことは何でもやりましょう。野党が過半数を取れば、戦争法の廃止を参議院で決議できる」との訴えがありました。

選挙が始まっても、戦争法の廃止を求める200万統一署名を続けることは可能です。署名活動を通して、九条を守る、改憲を許さない、基本的人権をゆるがせにさせないことなどを訴えたいと思います。全国の九条の会の仲間と連帯して、戦争法を廃止するためのステップとして、参院選での野党勝利を実現させましょう。

集会では右翼の妨害が目立ちました。これは私たちの主張が正しければ正しいほどむきだしになるもので、恐れるに足りません。妨害騒音の中でこう思いました。(代田2丁目・坂本 功)



七月十日(日)は、参議院選挙の投票日。  
\*戦争に行くより、選挙に行こう。  
\*戦争法に賛成した議員には投票しない。

## 戦争はゴメンだ 政治を変えていのちを守る！ 九条の会 2016in 中野

日本国際ボランティアセンター代表の谷山博史さんの話から聞きました。「安保法制と紛争地の現実」と題して、アフガニスタンや南スーダンでの体験を通じて、武力では紛争は解決できない、日本は民生支援に徹してこそ現地の人びとに信頼されるし、国際平和に貢献できると話されました。

浜 矩子さんは、アホノミクスの破綻は明白で均衡の回復、弱者救済という本来の経済政策が必要で安倍政権打倒はあとひと蹴りのところまでできていますと、同感です。

九条の会事務局長、小森陽一さんからは「私たち九条の会は、自らの憲法尊重擁護義務をまったくわきまえないこうした一連の安倍首相の明文改憲発言に断固抗議します。2007年、9条改憲を公言した第1次安倍政権を退陣に追い込んだ世論の高揚の再現をめざして、戦争法を廃止し、憲法9条を守りぬくこと、そのために、一人ひとりができる、あらゆる努力を、いまずぐ始めることを訴えます。」と2月8日の九条の会アピールを読み上げ、熱い訴えがありました。



地域の九条の会や安保法制に反対するママの会、高校生や大学生の発言もあり、有意義な会でした。

壇上に様々な会が揃い、代田九条の黄色の旗もちゃんとありました！

参議院一人区の32の統一候補も決まりました。安保法制を廃止してなんとしても、改憲を阻止したい、みんなで力を合わせればできるという思いを強くしました。(代田4丁目・萱野 幸子)

## 「戦争法の廃止をめざして」九条の会 事務局学習会

5月27日(金)の夜、学習会「戦争法の廃止をめざして—立憲主義の回復か安倍改憲か—」に参加しました。「憲法9条と立憲主義」と題して山内敏弘さん(一橋大学名誉教授)は、立憲主義の意味と平和主義と立憲主義の関係について詳しく説明をした後で、昨年成立した戦争法が、立憲主義にも平和主義にも反するものであると断じました。自民党などが「お試し改憲」としての緊急事態事項の導入を狙っていることについて、これが戦前のドイツでヒトラーが独裁を敷いた時に悪用したものと同じように使われる可能性があることを指摘し、警戒を訴えた。更に、自民党の「改憲草案」は立憲主義と平和主義に反する内容を多く含んでおり、非常に危険であると話した。

「戦争法廃止か安倍改憲か—安倍改憲のねらいと矛盾—」と題して渡辺治さん(一橋大学名誉教授・九条の会事務局員)は、昨年戦争法が成立し今年3月に施行されたのに、なぜ、安倍首相は今年に入って「明文改憲を目指す」発言を行っているのか、ということについてその狙いと矛盾点について話した。一つには、戦争法は通したが、改めて憲法の障壁を思い知ったところから計画的・意図的に明文改憲発言が出ていると指摘した。また、安倍改憲の焦点は9条2項と緊急事態規定にあり、これが実現できれば、戦争法の実施は彼らの思う通りにできる。従って、緊急事態条項は、9条以外から改憲に手を付けるための戦術論的な意味と戦争する国づくりの完成のための柱の一つという2つの狙いがあると指摘をされた。重要なことだと思いました。



今年の7月は参院選のみとなりました。しかし、安倍自民党は、選挙公約の中に「改憲」を盛り込みあわよくば両院で3分の2以上の議席獲得を目指しています。彼らの狙いをはっきりと知ってそんなことをさせないようにしていかななくてはならないと思います。(代田2丁目・伊東 宏)

## 集会等の紹介

### 怒りと悲しみの沖縄県民大会に呼応する

### 『命と平和のための6・19大行動』

6月19日(日) 14:00～ 国会正門前

\*\* 午後1時 下北沢駅・西口集合

共催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会  
「止めよう辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会

### 終戦記念日によせて(8月に計画)

71年目の終戦記念日がやってきます。

戦後を終わらせてはなりません。

戦争体験の話聞き語る会を計画しています。

連絡先 代田・九条の会



## 日本国憲法(抜粋)

**第9条** 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。  
2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、  
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめてみましょう～  
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++

お問い合わせ：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。  
また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。